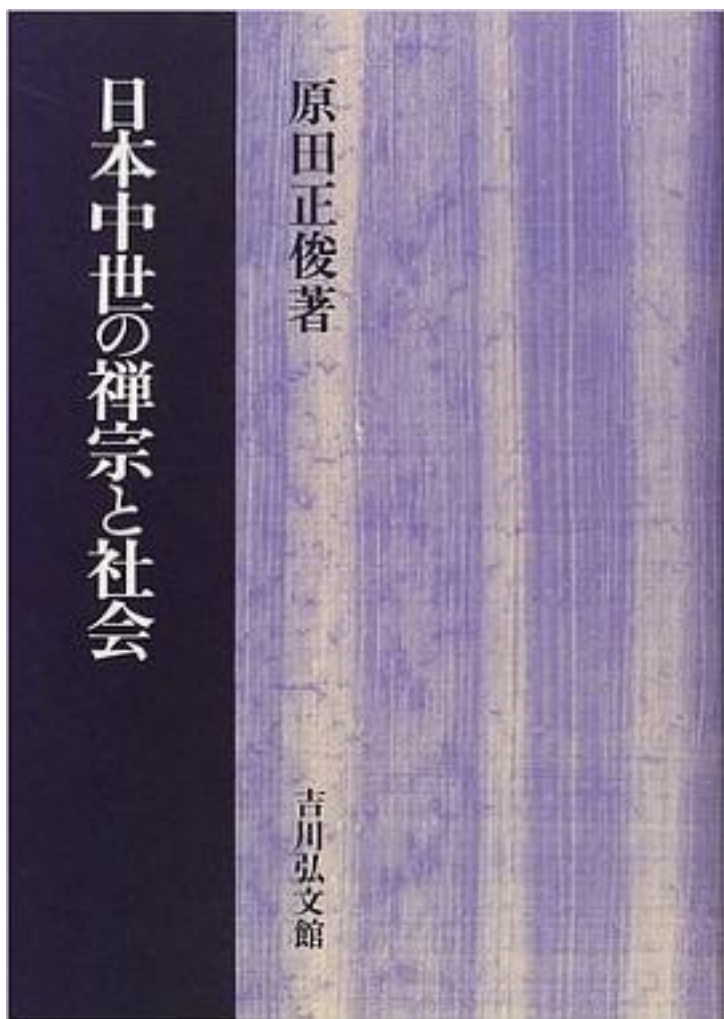


日本中世の禅宗と社会



[日本中世の禅宗と社会_下载链接1](#)

著者:原田 正俊

出版者:吉川弘文館

出版时间:1998-11

装帧:

isbn:9784642027687

禅宗は日本の中世社会に大きな影響を与えた。放下僧ら民間宗教者の禅宗受容や旧仏

教との対立の様相から禅宗像を再検討する。また禅と念仏・神祇信仰の関係、禅宗寺院の組織と仏事法会より中世後期仏教の特質を追究する。

作者介绍:

原田 正俊ハラダ マサトシ

関西大学日本史・文化遺産学専修

教授

博士(文学) 日本史 大阪大学

目録: 序論 問題の所在と本書の視角
第1部 中世仏教のなかの禅宗(放下僧・暮露にみる中世禅宗と民衆
達磨宗と摂津国三宝寺
東福寺の成立と「時代の妖怪」
播磨国における禅宗の発展
『天狗草紙』にみる鎌倉時代後期の仏法)
第2部 中世後期仏教の展開(中世社会における禅僧と時衆――遍上人参禅説話再考
禅宗の地域展開と神祇――紀伊半島・臨済宗法燈派を中心に
渡唐天神画像にみる禅宗と室町文化
中世禅林の法と組織――禅宗寺院法と公界の基礎的考察)
結論 中世後期の国家と仏教
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[日本中世の禅宗と社会 下载链接1](#)

标签

日本史

佛教

日本

历史

宗教

评论

[日本中世の禅宗と社会 下载链接1](#)

书评

[日本中世の禅宗と社会 下载链接1](#)